

いち
わたしの一押し

夏の省エネ “冷房編”



7 ■夏は何といても窓対策から■

風も通し、太陽の日差しを和らげる日本の住まいの文化“よしず”や“すだれ”。つる性植物の天然のグリーンカーテン等は活用なさっていますか？

夏の室内が熱くなる原因は、言うまでもなく太陽。太陽の熱（輻射熱）は屋根、外壁、窓等建物のあらゆる場所から室内に入りますが、7割は窓からと言われます。

まずは、南向きの大きな窓の対策からしてみませんか。

窓の外の手軽な対策として、立てかける“よしず”、たらず“すだれ”、据え付ける“シェード”等はいかがですか。最近ご近所によく見かけるのはゴーヤの“グリーンカーテン”。室内から緑が美しく、しかも夏バテ防止の栄養豊富な“実”の収穫も嬉しいです。

私は、手動で調節可能な簡易なオーニング（日よけ）をデッキの上に取り付けてみました。雨の日も窓を開けて風を入れられますし、強い日差しもしっかりシャットアウト。冷房は一気に減りました。

室内側では、ブラインドをきちっと下げたり、床までの長さのカーテンを閉めることで、エアコンで冷えた空気が温まりにくくなります。
(NM)



ご自宅の毎時、毎日、毎月の

電力消費量を電力購入会社のWebページ等で確認してみましょう

